

図書館だより

NO. 129 2008年 11月号
(2008年11月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

<テーマ展示>

「図書館と博物館」に関する本を展示します。

～図書館編～

はつかいち市民図書館のように、地方公共団体が設置した図書館を「公共図書館」といいます。

全国には、3,091館（うち広島県80館）

の公共図書館があります。規模の違いはありますが、全て「無料」で本を借りることができます。（2007年4月1日現在/日本の図書館2007より）

～博物館編～

博物館に行ったことがないという人には馴染みの浅い施設かもしれません。博物館には、資料館・文学館・歴史館・動物園・水族館なども含まれます。本市にある「宮島水族館」は日本沿岸はもとより世界各地の海や川の生物を集めて展示しています。11月30日までひとまず休館しますが、現在地で全面建て替えを行い2011年8月に、リニューアルオープン予定です。

今月の展示

<さくらびあ展示> 『小津安二郎に関する本』

2009年1月9・10日に、さくらびあで「小津安二郎監督」の映画が上映されます。小津安二郎に関する本を展示します。

<中央展示> 『闘病記』

病に立ち向かう人とその家族たちによって綴られた闘病記を集めています。病に直面した人の不安を少しでも解消してくれたり、心の支えになってくれるのではないのでしょうか。命の尊さ、家族や周りの人たちの存在の大切さに気付かされます。

<児童展示> 『世界の昔話』

昔話絵本は、同じお話でも再話者や画家によって趣が違ってきます。今月は世界の国々で語り継がれた昔話の絵本を集めました。みんなが知っている定番のお話はもちろん、まだ知らない昔話に出会えるかも！

読書会で読んだ本

一般書

『「自分の木」の下で』

大江健三郎／著 F/オ 朝日新聞社
大江ゆかり／画

この本には、アラカルト方式の構成で、16のテーマがあります。全体を通じて大江さんが言いたかったことは何であったのでしょうか。「取り返しのつかないことは（子供には）ない」、「ある時間待ってみてください」などの章には、若い人へのメッセージが濃厚に込められていました。そこには、若者に伝えたいこと、苦難に出会ったとき、その壁をどのように受け止め、乗り越えていくかという生きる秘訣が述べられています。大江さんは、自分の最も大切にしている「命の重さ」「命の継承」を若い人たちに訴えたかったのかも知れません。

*「根っこの歌（読書会通信）より」

読書会講師：深川賢郎

読書会は毎月第3水曜日

(10:00～12:00)です。詳しくは窓口でお問い合わせください。(11月は、11月19日)

私のすすめる本

一般書

『ユダヤ人なら年金を絶対国にまかせない!』オーレン・ロース／著
338.1/ロ 宝島社

この本の著者は日本に8年間住んでいた経験を持つ、日本語堪能なユダヤ人金融コンサルタントです。

「この本の題名の意味を、日本人にどれだけ理解されるか、いや今こそもう一度根本から考え直すきっかけを」と著者は述べています。ユダヤ人は、長い間、苦難の歴史を乗り越えてきた民族だからこそ身につけた知恵とノウハウがあります。お金を増やすという哲学だけでなく、自分自身で考えて行動するという自立した精神を持ちなさいと述べています。世界情勢に注目し、つねに行動を起こすことは、日本社会ではまだまだ無縁のように感じられますが、「世界の中の日本」「日本が世界に与える影響力」について考えさせられる1冊です。

図書館利用者：松尾耀介

今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆ ★ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆ ★

- 『好戦の共和国アメリカ』油井大三郎／著 岩波書店 S253/ユ
- 『浅井長政のすべて』小和田哲男／著 新人物往来社 289.1/ア
- 『ゲーム理論・入門 ～人間社会の理解のために～』岡田章／著 有斐閣 331.1/オ
- 『孤母社会 ～母よ、あなたは悪くない!～』高浜正伸／著 講談社 S367.3/タ
- 『糖質制限食秋のレシピ』江部康二・高野邦子／著 東洋経済新報社 493.1/エ
- 『マスキングテープの本』主婦の友社／編 主婦の友社 585.7/マ
- 『石内尋常高等小学校 花は散れども』新藤兼人／著 岩波書店 B778.2/シ
- 『大人のための自転車通勤読本』松田力／著 東京書籍 786.5/マ
- 『外国語学習の科学』白井恭弘／著 岩波書店 S807/シ
- 『テーマ別英語ことわざ辞典』安藤邦男／著 東京堂出版 834/ア
- 『童話を書きたい人のための本』上条さなえ／著 角川学芸出版 909.3/カ
- 『虚栄の肖像』北森鴻／著 文芸春秋 F/キ
- 『幕末裏返史』清水義範／著 集英社 F/シ
- 『治験』仙川環／著 双葉社 F/セ
- 『サポートさん』日向蓬／著 集英社 F/ヒ
- 『皇妃エリザベート』藤本ひとみ／著 講談社 F/フ
- 『まじめなわたしの不まじめな愛情』山田あかね／著 徳間書店 F/ヤ

新刊

ことものほん

『うさこちゃんのさがしもの』『うさこちゃんのだいすきなおばあちゃん』

ディック・ブルーナ ぶん・え 松岡享子 やく 福音館書店 E/7
うさこちゃんの新刊が2冊出版されました。

1冊目のお話は、うさこちゃんが大切にしているぬいぐるみのくまちゃんが見当たりません。うさこちゃんはあちこちをさがしますが…。

次のお話は、大好きなおばあちゃんが死んでしまい、うさこちゃんはお別れしなくてはなりません。

『あこがれの機関車』

アンジェラ・ジョンソン作 ロレン・ロング絵
本間浩輔・本間真由美 共訳 E/0

ミシシッピ・デルタを走る機関車の汽笛は、線路沿いで綿花を摘む黒人の少年にとって、希望の象徴だった。ところが、衝突事故で敬愛する運転手のケーシーが悲劇的な死をとげる。力強く味わい深い絵で描かれた、20世紀初めの実話に基づいた作品。

『立たされた日の手紙-神沢利子詩集-』

神沢利子作 宇野亜喜良絵 理論社 911/カ
「りんご」

さくさくと りんご はみつ
歯にしみる つめたさに
ゆくりなく おもいうかべぬ このあした
北国へ立つ 汽車にある
ひとの かなしきまみのいろ

『ねむりのはなし』

ポール シャワーズさく ウェンディ ワトソンえ
こうやまじゅん こうやまえみこ やく 福音館書店 E/7

「ねむらないとどうなる？」ねむりについて研究している人が実験しました。ずーと眠らないしていると、体や脳の調子が悪くなります。元気で気持ちよく過ごすためには眠りが大切です。ねむりについて、子どもにもわかりやすく描かれた絵本です。

『しょぼん -ひらがな-』

『書本-漢字-』

武田双雲著 池田書店 728/ワ

美しい日本語ひらがなと、たった一文字でさまざまなことを伝えることができる漢字。それぞれの魅力や著者が感じてきた感動を表現した本です。じつと観察したり、筆をとってまねしたり。親子で声に出して読むのにぴったりな詩もついています。

『フングリコングリ-図工室のおはなし会-』

岡田淳作・絵 偕成社 913/ワ

図工室にやってきた不思議なお客に、図工の先生が語るおはなし6話を収録。第1話は、アスカは算数の時間に、となりの席のカズマに教わった指遊びをしていました。その指遊びを続けていくと、手がだんだん上へのぼって行って、アスカのからだも浮いてきてしまい…。

ミニブックトーク

絵本で遊ぼう！

ひとくちに絵本といっても、その内容は、物語、知識、昔話…といろいろなジャンルがあります。今月は絵本を読みながら、みんなであれこれ言い合っ、会話がどんどん飛び交うような絵本を紹介し、秋の夜長、いっしょに絵本を開いて、考えたり唱えたり笑ったり、家族で楽しい時間を過ごしてください。

- ① けいこが、お兄ちゃんの後を追いかけていくと知らない森に入り込んでしまいました。すると男の子が出てきて、森の仲間とかくれんぼしようと誘います。鬼になったけいこは、森の動物を探せるかな？
- ② 「あ〜ん」まで、歌いながら遊べます。見どころはおいしそうなおべものが出てくる絵。細かいところにも面白さが描かれていて、それを見つけるのが、これまた楽しい絵本です。
- ③ だじゃれの文と描かれた絵が絶妙で、笑いが出ること間違いなしの絵本です。百聞は一見にしかず！シリーズに『すいぞくかん』『しょくぶつえん』『レストラン』『オリンピック』があります。
- ④ 大勢の前で読んだら、意見がわかれちゃうかな？それとも、どれも選びたくない？！
- ⑤ 見開きに、なぜなぞとその手がかりになる絵が描かれていて、次のページに答えが書いてあります。幼い子向けの小型の絵本で、お馴染みのぐりとぐらも登場します。

①『もりのかくれんぼう』末吉暁子作 林明子絵 偕成社 1978 E/ハ

②『あっちゃんあがつくーたべものあいうえおー』みねよう げんあん さいとうしのぶ 2001 リーブル E/サ

③『だじゃれどうぶつえん』中川ひろたか文 高畠純絵 絵本館 1999 E/タ

④『ねえ、どれがいい？』ジョン・バーニンガムさく まつかわまゆみやく 評論社 1983 E/ハ

⑤『なぜなぞえほん1〜3』中川李枝子さく 山脇百合子え 福音館書店 1988 E/ヤ

図書館の歴史

日本では、「図書館法」という法律に基づいて設置されたものを「図書館」とよんでいます。図書館は、設立母体によって、所蔵本の種類や利用者層も異なってきます。例えば、国が設立した「国立国会図書館」は、「納本制度」という制度によって、国内で出版された本の寄贈を受け、それらの本を所蔵して後世に伝えていくという目的があります。その他にも、大学が設置した「大学図書館」の主な利用者は学生ですし、企業などが設立した「専門図書館」の蔵書は専門分野に特化したものを集めています。

さて、図書館は「いつ・どこで・だれが」作ったのでしょうか？

いまから2600年以上前の、アッシリアという国（げんざいのイラクあたり）の遺跡から、図書館のあとがみつかりました。そこから、文字がきざみこまれたねんど板がたくさんでてきて、それらは種類ごとにきちんと分けられていました。それより約350年くらいのちにできた、エジプトのアレクサンドリアの図書館には、パピルスという植物の茎をのばして紙のようにしたものに文字をかいた巻物が、70万巻もあったといわれています。日本では、平安時代から図書館があったようです。鎌倉時代には「金沢文庫」という図書館がつくられ、室町時代には「足利学校」という学校のなかに、図書館がせいびされました。だれもが利用できるいまのような図書館ができたのはアメリカで18世紀ころ、日本では明治時代になってからです。西洋の図書館を見てきた福沢諭吉が、たくさんの本がそろえてあって、だれもがすきなときに本をよむことができるしせつがあることを伝えました。そして1872（明治5）年、政府は東京の湯島に「書籍館」をたてました。これが近代の図書館のはじまりです。

社会科はじめて大百科2（町のなか）より引用 西本鶏介／著 ポプラ社 308／シ

11月の図書館カレンダー

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～

【時間】11時～

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 休館	5	6	7 ◎	8
9	10 休館	11	12	13	14	15 ■
16	17 休館	18	19	20	21 ◎	22 ☆
23	24	25 休館	26	27	28	29
30						

場所はいずれも図書館会議室です